

(機密性1)

2 教育・研究活動

(12) 非常勤講師等(令和5年度)

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

(令和5年度)

授業科目名	担当時間数
教科内容構成「生活」の理論と実践	10
現代の教師と教育の哲学	30
教科内容構成「道徳」の理論と実践	30
道徳教育の理論と実践	30
心理学統計法特論	30
心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	30
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	30
心の健康教育特論(心の健康教育に関する理論と実践)	30
発達障害心理・指導法論	30
教科内容構成「国語」の理論と実践	6
語彙・文法の授業における理論と教材化	30
社会系教科内容学(地理)B	30
「家庭」における理論と実践(住居学)	30
指揮の理論と実践/指揮法研究	16
人物画研究	15
日本画研究	52

イ 学校教育学部

(令和5年度)

授業科目名	担当時間数
学校図書館メディアの構成	30
情報メディアの活用	10
総合・生活<A・Bグループ>	14
総合・生活<C・Dグループ>	16
総合・生活<免P>	12
生活科指導法<C・Dグループ>/総合・生活科指導法A	26
生活科指導法<A・Bグループ>	26
総合・生活科指導法A<免P対象>/生活科指導法<免P>	20
プログラミング教育応用演習	30
表現・人間学基礎論	8
表現・相互行為教育演習	12
ICTを活用した通級による指導(自立活動)の授業デザイン	2
算数・数学の教材開発と授業構想	14
教育本質論	30
生涯学習概論B	30
道徳教育論	16
保育・表現の指導法	30
保育・健康の指導法	30
身体表現の基礎	30
乳児保育 I	32
乳児保育 II	16
養護内容	30
保育者論	30
心理学研究法	30
心理学統計法	30
教育評価の方法と技術(心理的アセスメント)	20
福祉心理学	30
精神医学入門(精神疾患とその治療)	30
産業・組織心理学	30
人体の構造と機能及び疾病	30
健康・医療心理学	30
心理学概論	30
学習心理学(学習・言語心理学)	30
初等国語科指導法	24
中等国語科指導法(課程論)	30
国語学講読A	30
国語学講読B	30
国語学演習A	30
国語学演習B	30
コミュニケーション英語A I (Aグループ)	30
コミュニケーション英語A II (Aグループ)	32
コミュニケーション英語A II (Dグループ)	32
コミュニケーション英語B I (Cグループ)	30
コミュニケーション英語B I (Dグループ)	32
コミュニケーション英語B II (Bグループ)	32
コミュニケーション英語C I (Aグループ)	32
コミュニケーション英語C I (Cグループ)	32
コミュニケーション英語C I (Dグループ)	30
コミュニケーション英語C II (Aグループ)	32
コミュニケーション英語C II (Dグループ)	32
英語コミュニケーション(ライティング)/英語コミュニケーション演習(ライティング)	32
英語学概論	30

授業科目名	担当時間数
英語文化圏文学/英語文学概論	30
英文学演習/英語文学演習	30
比較文化	30
異文化理解教育	34
人文地理学概説	30
地理情報学	30
哲学概説	30
政治学概説	28
社会学概説	30
宗教学概説	30
ヨーロッパ史認識論	30
算数科指導法(免P)	15
算数科指導法(ABグループ)	15
算数科指導法(CDグループ)	15
数学科指導法	20
数学教材開発論	30
計算機数学演習	15
基礎線形代数学	32
線形代数学	34
代数学概論	30
算数(免P)	32
物理学	14
物理学実験	28
化学	10
化学実験	20
地学	14
地学実験	28
音楽	38
音楽音楽(免P)	64
日本音楽B(日本の伝統的な歌唱を含む。)	32
日本音楽A I	32
工芸表現(木工)	30
美術史論	30
ボールゲーム(BCコース)	30
ボールゲーム(ABCコース)	44
体育	4
ダンス	20
教養スポーツ(ABクラス)	16
教養スポーツ(CDクラス)	16
スノースポーツ	30
球技	14
教科内容構成「体育・保健体育」	2
金属加工法	30
機械工学概論	30
機械工学実習	30
被服学	30
被服製作の理論と実習	52
調理の理論と実習	45
住居学(製図を含む。)	10
伝統絵画表現と鑑賞	16
人物画実習	15
教科内容構成「図画工作・美術」	4

(機密性1)

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。）

(令和5年度)

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
生活科指導法	生活科の授業の実際についての講話	8
総合的な学習の時間の指導法	「総合的な学習の時間」の指導の実際について、主に上越教育大学附属中学校における総合的な学習の時間の運用と具体的な指導の在り方について講義・演習を行う。	12
学習活動に困難のある子どもの教材づくり	学習活動における困難のある子どもの教材、支援機器及び教材づくりの実際に関する基礎的な知識を得る。	14
障害児保育	様々な障害について理解するとともに、障害のある幼児の保育の実際、保護者への支援等、障害児保育に関する基礎的な知識を得る。	12
ICTを活用した通級による指導（自立活動）の授業デザイン	ICTを活用した通級による指導の授業デザインの基盤となる知識・技能を身に付ける。	20
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	4
初等社会科指導法	小学校の元校長、及び、新潟県社会科教育研究会の元会長という立場から講義をしていただき、社会科の特質を理論的かつ実践的にとらえ、小学校社会科教育実践のための基礎的かつ具体的な理解を得ることを目標とする。	6
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際	4
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	4
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
初等音楽科指導法	「生活科」で子どもが動物飼育から感じ取った感情を歌にする活動から子どもの感性が育まれる学習原理について解説をしていただく。	12
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科の教育現場における授業づくりに関する実践的な助言・指導をいただく（歌唱指導、指導案作成に焦点をあてて）。	12
中等音楽科指導法（授業論）	中等音楽教育における今日的な課題に対応する実践的な助言・指導をいただく。	14
図画工作科指導法	美術（図画工作）教育の本質を、子どもの実態、造形文化、教科の歴史や構造等からとらえると同時に、教科内容の教材化、指導法に関する基礎的能力を身につける。	12
初等家庭科指導法	家庭科の特質と目標および、小学校家庭科の内容構成と児童の生活実態や学習過程を理解し、適切な指導観を養うことを目標とする。	8

※教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く。

(機密性 1)

イ 教科に関する科目

(令和5年度)

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の時間の実践例	6

(機密性 1)

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

(令和5年度)

授業科目名	授業の趣旨・概要	担当時間数
保育実習指導Ⅰ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	4
保育実習指導Ⅲ	保育所実習に必要な乳幼児の保育について実践的な理解を深める。	4
保育実習指導Ⅳ	早期療育施設の実態と具体的な支援法の理解を図る。	2
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に必要な理論、技術、方法の習得を通じて、実践的指導力の基礎を培う。教育実習ルーブリックのSTAGE1の達成を目標とする。	20

(機密性1)

③ ティーチングアシスタント

大学院学生

(令和5年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
体験学習 (共通)	五百川 裕 他	通年	不定期	26.5 時間
体験学習 (Aグループ)	五百川 裕 他	通年	不定期	14 時間
体験学習 (Dグループ)	東原 貴志 他	通年	不定期	9.5 時間
体験学習	長谷川 正規	通年	不定期	20 時間
プログラミング教育基礎演習	大森 康正	通年	集中	18.5 時間
教養スポーツ (A・Bグループ)	直原 幹 他	前	水2	60 時間
教養スポーツ (C・Dグループ)	直原 幹 他	前	木2	60 時間
スノースポーツ	長谷川晃一 他	後	集中	28.5 時間
国際理解教育入門	釜田 聡	前	月3	17 時間
教育情報演習 (Bグループ)	大森 康正	後	金3	30 時間
教育情報演習 (Cグループ)	高野 浩志	後	水2	30 時間
教育情報演習 (Dグループ)	石川 真	後	木2	30 時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	木3	80 時間
図画工作 (Aグループ)	松尾 大介	前	金3	25.5 時間
図画工作 (Bグループ)	松尾 大介	前	木1	12 時間
図画工作 (Cグループ)	松尾 大介	前	火3	26 時間
図画工作 (Dグループ)	松尾 大介	前	木4	22 時間
体育	池川 茂樹 他	前	火4	56.5 時間
算数科指導法 (ABグループ)	高橋 等 他	前	木2	30 時間
算数科指導法 (CDグループ)	高橋 等 他	前	火2	30 時間
初等音楽科指導法 (ABグループ)	尾崎 祐司、時得 紀子	前	月2	30 時間
初等音楽科指導法 (CDグループ)	尾崎 祐司、時得 紀子	前	木2	30 時間
図画工作科指導法 (ABグループ)	五十嵐 史帆	前	火3	30 時間
図画工作科指導法 (CDグループ)	五十嵐 史帆	前	木1	30 時間
初等体育科指導法 (Aグループ)	周東 和好 他	前	月1	27 時間
初等体育科指導法 (Dグループ)	周東 和好 他	前	水1	27 時間
初等家庭科指導法 (ABグループ)	小高 さほみ	前	火1	13.5 時間
初等家庭科指導法 (CDグループ)	佐藤 ゆかり	前	火1	15 時間
コミュニケーション英語A I	大場 浩正	前	木2	30 時間
コミュニケーション英語B I	野地 美幸	前	木2	30 時間
小学校英語指導法 (Aグループ)	大場 浩正	前	火2	15 時間
小学校英語指導法 (Dグループ)	瀧澤 典子	前	火4	30 時間

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
総合的な学習の時間の指導法A Bクラス	釜田 聡 他	後	水 1	30 時間
総合的な学習の時間の指導法C Dクラス	釜田 聡 他	後	水 1	30 時間
総合的な学習の時間の指導法免許P	釜田 聡 他	後	木 6	24 時間
心理学実験	飯塚 有紀 他	後	木3・4	43 時間
書写書道	押木 秀樹	後	月 3	25.5 時間
中等国語科指導法（書写論）	押木 秀樹	前	月 3	24 時間
中等英語科指導法（授業論）	大場 浩正	後	火 2	25.5 時間
英語学演習	野地 美幸	前	水 2	25.5 時間
計算機数学演習	林田 秀一 他	後	木 4	25.5 時間
物理学実験	小川 佳宏	後	月3, 4	25.5 時間
化学実験	下村 博志	後	火4, 5	25.5 時間
生物学実験	中村 雅彦	前	火1, 2	21 時間
地学実験	濤崎 智佳	通年	月4, 5	24.5 時間
指揮法	長谷川 正規	前	木 5	25.5 時間
造形基礎A C	洞谷 亜里佐、安部 泰、伊藤 将和	前	月 5	25.5 時間
造形基礎B D	松尾 大介、兪 期天	前	月 4	16.5 時間
日本画表現	洞谷 亜里佐	前	火 4	17 時間
デザインワーク I	安部 泰	後	木 3	25.5 時間
人物画実習	洞谷 亜里佐	前	集中	15.5 時間
油彩画表現	伊藤 将和	後	火 4	25.5 時間
彫刻表現 I	松尾 大介	後	木 5	22.5 時間
工芸表現（陶芸）	兪 期天	前	木 4	21.5 時間
体操・器械運動	周東 和好 他	後	水 2	16.5 時間
水泳	松浦 亮太	前	火 3	25.5 時間
栽培法	山崎 貞登	前	木 3	25.5 時間
木材手工具加工法	東原 貴志 他	前	木 5	10 時間
木材機械加工法	東原 貴志 他	後	月 4	23 時間
電気工学実験実習	岡島 佑介	前	木 4	18 時間

博士課程学生

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国文学演習B	小埜 裕二	前	木 4	17 時間

(機密性 1)

④ ティーチング・サポーター

大学院学生

(令和 5 年度)

授業科目名	授業担当教員	学期	曜日 時限	担当時間数
国語（書写を含む。）	押木 秀樹 他	前	金 1	30 時間
社会	山縣 耕太郎 他	前	火 5	0 時間
理科	中村 雅彦	後	月 2	30 時間
音楽	長谷川 正規 他	通年	月 6	12 時間
図画工作	松尾 大介 他	前	木 6	23.5 時間
体育	松浦 亮太 他	通年	火 5	20.5 時間
家庭	吉澤 千夏	前	月 2	19 時間
道徳教育論	早川 裕隆 他	後	木 1	30 時間
特別活動論	高橋 知己	前	木 2	30 時間
算数科指導法	布川 和彦 他	後	水 6	30 時間
初等音楽科指導法	尾崎 祐司、時得 紀子	前	火 2	30 時間
図画工作科指導法	五十嵐 史帆 他	後	木 6	30 時間
初等体育科指導法（Bグループ）	周東 和好 他	前	月 1	27 時間
初等体育科指導法（Cグループ）	周東 和好 他	前	水 1	27 時間
初等家庭科指導法	小高 さほみ、佐藤 ゆかり	前	木 6	30 時間
生徒指導論	稲垣 応顕、寺戸 武志	後	月 1	0 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 敏恵 他	後	木 2	60 時間
キャリア教育論	山田 智之	後	月 1・月 6	30 時間
日本国憲法	小島 伸之	後	水 1	30 時間
人権・同和教育	蜂須賀 洋一	後	金 1	30 時間
特別支援教育概論	小林 優子 他	後	木 5	60 時間
ICTを活用した通級による指導（自立活動）の授業デザイン	藤井 和子 他	前	木 5	60 時間

⑤ リサーチ・アシスタント

(令和5年度)

任用期間	研究補助業務 担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト 代表者
(実績無し)				